

対象患者： 濾胞性リンパ腫 根拠文献： J Clin Oncol 37:1188-1199.

レジメン名： R2

1コースの日数： 28日

【サイクル1】

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法等も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day								
					1	~	8	~	15	~	22	~	28
1	リツキシマブ (遺伝子組換え)	375 mg/m ²	点滴静注	備考欄参照	○		○		○		○		

【サイクル2~5】

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法等も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day								
					1	~	8	~	15	~	22	~	28
1	リツキシマブ (遺伝子組換え)	375 mg/m ²	点滴静注	備考欄参照	○								

備考：

R2療法は最大12サイクル実施する。

リツキシマブ投与はサイクル5まで。また、初回投与は入院で実施する。

当院におけるリツキシマブの投与速度は下記のとおり。

- ・初回：25mL/hrで開始し、1時間後に100mL/hr、その後200mL/hrに増速。
- ・2回目以降：100mL/hrで開始し、30分後に200mL/hrに増速。

レナリドミドは20mg/day 分1を21日連日内服した後、7日間休薬する。これを1サイクルとし、最大12サイクル実施する。

腎機能障害患者への開始用量目安は下記のとおり。

- ・ $30 \leq \text{CLcr} < 60 \text{ mL/min}$ ：レナリドミド10mg/day 分1で開始し、2サイクル終了後、忍容可能な場合は15mg/dayに増量可。
- ・ $\text{CLcr} < 30 \text{ mL/min}$ ：レナリドミド5mg/day 分1で投与。透析患者の場合は透析後に投与。

なお、RevMate (レブラミド・ポマリスト適正管理手順) に従い、レナリドミドは院内処方。